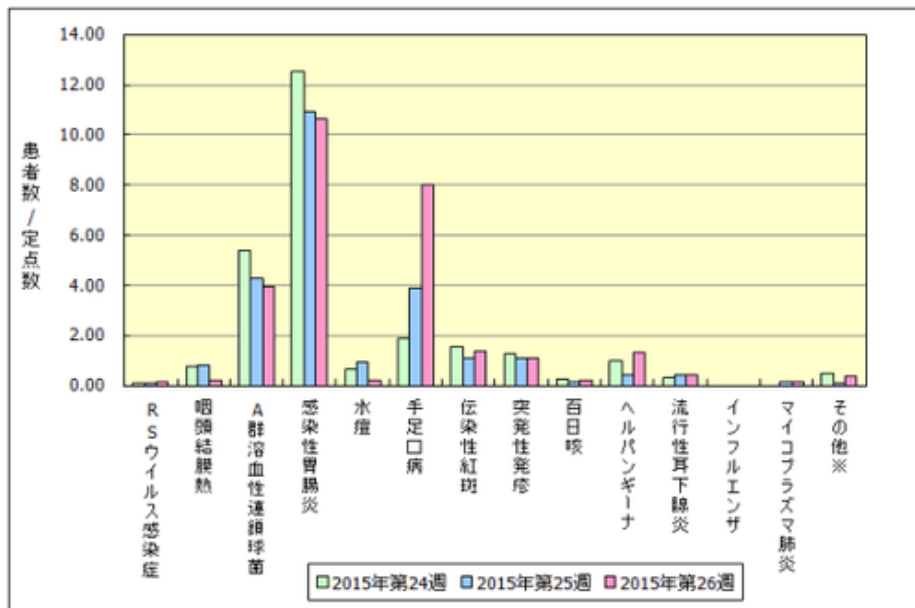


第26週(6月22日～6月28日)の集計結果

コメント

【今週の傾向】

- 手足口病が、定点あたり8.0人と前週より倍増し、警報レベルを超えました。
経口、飛沫、接触感染のため、手洗い、うがいの励行と、タオル等共有の禁止を徹底しましょう。
また、症状が治った後も、3～4週間、ウイルスが便に排出されますので、注意しましょう。
- 感染性胃腸炎は、定点あたり10.6人と横ばいです。
嘔吐物や下痢便の処理は次亜塩素酸ナトリウムを使用し、適切に処理しましょう。
- 伝染性紅斑は、第25週に都内で警報レベルを超えたと報道あり、八王子市のサーベイランスでは、第16週に警報レベルを超え、その後も減少傾向にはありますが、警報レベルが続いています。



※・・・不明発疹症、MCLS(川崎病)

第26週疾患毎発生状況グラフ

	2015年 第21週	2015年 第22週	2015年 第23週	2015年 第24週	2015年 第25週	2015年 第26週	第1週から の合計
RSウイルス感染症	1	1	1	1	1	2	121
咽頭結膜熱	20	17	13	10	11	3	136
A群溶血性連鎖球菌	64	64	64	70	60	55	1576
感染性胃腸炎	161	154	149	163	153	149	4297
水痘	15	33	24	8	13	3	393
手足口病	6	11	15	24	54	112	254
伝染性紅斑	17	18	20	20	15	19	456
突発性発疹	8	13	6	16	15	15	215
百日咳	2	2	5	3	2	3	47
ヘルパンギーナ	0	1	8	13	6	18	49
流行性耳下腺炎	10	10	5	4	6	6	188
インフルエンザ	6	1	0	0	0	0	3501
マイコプラズマ肺炎	0	4	1	0	2	2	28
その他※	1	3	0	6	1	5	54

※・・・不明発疹症、MCLS(川崎病)

第26週疾患毎発生状況表

第26週	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	マイコプラズマ肺炎	その他※
～5ヶ月	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
～11ヶ月	0	1	0	7	0	10	0	6	0	2	0	0	0	1
1歳	2	0	3	11	0	39	1	8	0	6	1	0	0	2
2歳	0	0	2	11	0	23	4	1	0	2	0	0	0	0
3歳	0	1	2	20	2	21	5	0	0	3	0	0	0	0
4歳	0	1	7	18	0	9	0	0	0	2	1	0	0	1
5歳	0	0	12	12	0	4	3	0	0	1	3	0	0	0
6歳	0	0	4	13	0	3	1	0	0	1	0	0	0	0
7歳	0	0	4	9	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
8歳	0	0	10	7	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0
9歳	0	0	3	13	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
10～14歳	0	0	7	19	0	1	1	0	3	0	0	0	2	0
10～12歳												0		
13～14歳												0		
15～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳以上	0	0	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	3	55	149	3	112	19	15	3	18	6	0	2	5

※・・・不明発疹症、MCLS(川崎病)

第26週年齢別発生状況表

地区ブロックの分け方

- ・ 中央・北部
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- ・ 西部
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- ・ 東南部
由木東事務所、南大沢事務所管内
- ・ みなみ野
由井事務所